

名古屋大学

国際言語文化研究科

全学向け授業案内

がいにこくご とくべつけんしゅう 「外国語特別研修コース」について

こくさいげんごぶんか けんきゅうか ぜんがくむ じゅうぎょう がいにこくご とくべつけんしゅう えんしゅう しゅたい
国際言語文化研究科全学向け授業「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体
しょうにんずう がいにこくご じゅうぎょう みな せっきよくてき じゅうこう きたい
とした少人数による外国語授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

2015年度前期

がくぶ がくせい みな
(学部学生の皆さんへ)

- ◆「国際言語文化研究科全学向け授業」として登録する場合は、本冊子に従って手続きをしてください。NUPACE 所属の学生および一部の学部学生を除いては、この手続きにより履修登録した場合、卒業単位として認定されません。この授業の取り扱いについては必ず所属の教務学生窓口を確認してください。
- ◆全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する場合は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」に従って教養教育院事務室にて手続きをしてください。

I. 授業科目

「授業時間割表」及び「授業要覧(シラバス)」については9ページ以降をよく読んでから手続きすること。

外国語特別研修コース

科 目	開講期間		科 目	開講期間		
	前期	後期		前期	後期	
特別英語セミナー (Writing) a	○	—	ドイツ語	Level 1 a	○	—
特別英語セミナー (Writing) b	—	○	フランス語	Level 1 b	—	○
特別英語セミナー (Presentation) a	○	—	ロシア語	Level 2 a	○	—
特別英語セミナー (Presentation) b	—	○	中国語	Level 2 b	—	○
特別英語セミナー (Reading) a	○	—	スペイン語	Level 1 a	○	—
特別英語セミナー (Reading) b	—	○	朝鮮・韓国語	Level 2 b	—	○
特別英語セミナー (Certificate Tests) a	○	—	ポルトガル語	Level 1 a	○	—
特別英語セミナー (Certificate Tests) b	本年度は開講しない		イタリア語	Level 1 b	—	○
特別英語セミナー (Specific Purposes) a	本年度は開講しない		オランダ語	Level 1	—	○
特別英語セミナー (Specific Purposes) b	本年度は開講しない					

注) Level 1, 2は、この順で授業内容が高度になります。

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

前期：2015年4月10日(金)～2015年7月22日(水)
後期：2015年10月1日(木)～2016年1月27日(水)

2. 休業日

夏季休業期間：2015年8月8日(土)～2015年9月30日(水)
冬季休業期間：2015年12月28日(月)～2016年1月7日(木)

3. 休講日

名大祭期間：2015年6月4日(木)午後～6月7日(日)
大学入試センター試験実施準備：2016年1月15日(金) 予定

4. 定期試験期間

前期：2015年7月23日(木)～8月5日(水)
後期：2016年1月28日(木)～2月10日(水)

5. 授業時間帯
- | | |
|------|---------------|
| 第1時限 | 8:45 ~ 10:15 |
| 第2時限 | 10:30 ~ 12:00 |
| 第3時限 | 13:00 ~ 14:30 |
| 第4時限 | 14:45 ~ 16:15 |
| 第5時限 | 16:30 ~ 18:00 |

Ⅲ. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、特別聴講学生、研究生等及び本学職員です。

ただし、科目等履修生、聴講生は受講できません。

Ⅳ. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関わることは、全学教育棟本館1階「全学向け授業掲示板」（7ページ配置図参照）で通知します。

Ⅴ. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部長あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

Ⅵ. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、各授業の「授業要覧」（11ページ以降）及び各授業担当教員の指示に従ってください。

Ⅶ. 受講申込手続き

特別英語セミナー

◆ [4月17日(金)、20日(月)～23日(木)] から開講します。

1. 受講申込カード配付場所及び申込場所 ※配付するカード ⇒ 黄色(4連)
文系総合館1階 文系教務課事務室 (国際言語文化研究科) 窓口 (8ページ配置図参照)
2. カード配付・申込期間及び時間 ※この期間以外は受け付けません。
期 間：2015年4月8日(水)～10日(金)、13日(月)
時 間：9:00～12:00、13:00～17:00
3. 受講申込カード記入・提出について
 - ① 下記注意事項(A)・(B)を確認し、「受講申込カード」(黄色4連)に必要な事項を記入のうえ、申込期間中に文系教務課事務室 (国際言語文化研究科) 窓口に提出してください。
 - ② 学生証、(A)の原本を窓口で提示してください。〈本人保存用〉及び〈教員保存用〉カードを返却しますので、〈教員保存用〉カードは第1回目の授業時に授業担当教員に渡してください。
 - ③ 〈本人保存用〉カードに記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、〈本人保存用〉カードは保管しておいてください。

(A) 『TOEIC 等点数』

「特別英語セミナー」の受講を希望する人は全て、TOEIC 公開試験等の英語検定試験の点数を受講申請の際に記入する必要があります。TOEIC 等の受験は各自で行ってください。
申請時に下記基準を満たしていない場合は申請できません。得点証明書(2年以内に受験したもの)の原本を持参してください。確認・複写後、返却します。

名 称	申請基準
TOEFL-ITP	527以上
TOEFL-PBT	527以上
TOEFL-CBT	197以上
TOEFL-iBT	71以上
TOEIC	663以上
IELTS	6.0以上

※いずれの検定試験も正規の公開試験の結果のみを基準とする（TOEFL-ITPを除く）。

⑤『希望するクラス』

受講したいクラスを1つだけ記入してください。「特別英語セミナー」は、授業の種類にかかわらず、一期に1クラスしか受講できません。

4. 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します（決定後の問い合わせには応じません）。
定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

■発表日時及び発表場所

日時：2015年4月15日（水）9：00～

場所：全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板（7ページ配置図参照）

および、文系教務課窓口（8ページ配置図参照）

5. 第1回目の授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系教務課（国際言語文化研究科）は対応しません。

英語以外の外国語

◆〔4月10日（金）、13日（月）～16日（木）〕から開講します。

◆全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する学生が優先となります。希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

1. 受講申込カード配付場所 ※配付するカード ⇒ 水色（3連）

文系総合館1階 文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（8ページ配置図参照）

2. カード配付期間及び時間

期間：2015年4月8日（水）～24日（金）

時間：平日 9：00～17：00

3. 受講申込カード記入・提出について

①受講申込カード（水色）に記入し、第1回目の授業時〔4月10日（金）、13日（月）～16日（木）〕

に受講許可を得て、〈教員保存用〉カードを授業担当教員に渡してください。

②〈事務室保存用〉カードを文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提

出用ボックス」に提出してください（締切厳守）。

4. 申込期間及び時間

期間：2015年4月10日（金）～4月24日（金）

時間：平日 9：00～17：00

ねん ど ぜん き ぜんがく む じゅぎょう がいこく ご とくべつけんしゅう とくべつえい ご
2015年度前期全学向け授業「外国語特別研修コース」特別英語セミナー
 じゅこうもうしこみ じゅぎょうじゅこう なが
受講申込から授業受講までの流れ

ぶんけいきょう む か
文系教務課
 こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か
(国際言語文化研究科)

じゅこう きぼうしや
受講希望者
 がく ぶ がくせい こくさいげん こ
学部学生 (「国際言語
 ぶん か けんきゅう か ぜんがく む じゅ
文化研究科全学向け授
 ぎょう とうろく ば
業」)として登録する場
 あい だいがくいんせい とく
合のみ)、大学院生、特
 べつちようごうがくせい けんきゅうせい
別聴講学生、研究生
 とうおよ ほんがくしよくいん
等及び本学職員

こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か
国際言語文化研究科
 ぜんがく む じゅぎょうたんとうきょういん
全学向け授業担当教員

4月8日(水)～
 10日(金)、
 13日(月)
 9:00～12:00、
 13:00～17:00

じゅこうもうしこみ はい ふ およ うけつけ
受講申込カード配付及び受付
 じゅこうもうしこみ きいろ れん
受講申込カード [黄色(4連)のカード]
 およ とうとくてんしやうめいしよ ていしゆつ
及びTOEIC等得点証明書の提出
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か まどぐち
[文系教務課 (国際言語文化研究科) 窓口]
 ぶんけいそごうかん かい
[文系総合館1階]

4月15日(水)
 9:00～

ちやうせいけつ か はっぴようおよ けいじ
調整結果の発表及び掲示
 じゅこう か のう かくにん
受講可能クラスの確認
 ぜんがく む じゅぎょうけいじばん ぜんがくきょういこうほんかん
[全学向け授業掲示板] [全学教育棟本館1F] および、
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か まどぐち ぶんけいそごうかん かい
[文系教務課 (国際言語文化研究科) 窓口] [文系総合館1階]

じゅこうきよ か しや
受講許可者のみ

4月17日(金)、
 20日(月)～23日(木)

だい かいめ じゅぎょうじっし
第1回目の授業実施
 きやういん ほ ぞんよう ていしゆつ
<教員保存用> カードの提出
 かくぜんがく む じゅぎょうたんとうきょういん
[各全学向け授業担当教員]

ねん ど ぜん き ぜんがく む じゅぎょう がいこく ご とく べつけんしゅう えいご いがい がいこく ご
2015年度前期全学向け授業「外国語特別研修コース」英語以外の外国語
 じゅこうもうしこみ じゅぎょうじゅこう なが
受講申込から授業受講までの流れ

ぶんけいきょう む か
文系教務課
 こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か
(国際言語文化研究科)

じゅこう きぼうしや
受講希望者
 がく ぶ がくせい こくさいげん こ
学部学生 (「国際言語
 ぶん か けんきゅう か ぜんがく む じゅ
文化研究科全学向け授
 ぎょう とうろく ば
業」)として登録する場
 あい だいがくいんせい とく
合のみ)、大学院生、特
 べつちようごうがくせい けんきゅうせい
別聴講学生、研究生
 とうおよ ほんがくしよくいん
等及び本学職員

こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か
国際言語文化研究科
 ぜんがく む じゅぎょうたんとうきょういん
全学向け授業担当教員

4月8日(水)
 ~24日(金)
 9:00~17:00

じゅこうもうしこみ はいふ
受講申込カードの配付
 じゅこうもうしこみ みずいろ れん うけとり
受講申込カード [水色(3連)のカード] の受取
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か まどぐち
[文系教務課 (国際言語文化研究科) 窓口]
 ぶんけいそうごうかん かい
[文系総合館1階]

4月10日(金)、
 13日(月)~16日(木)

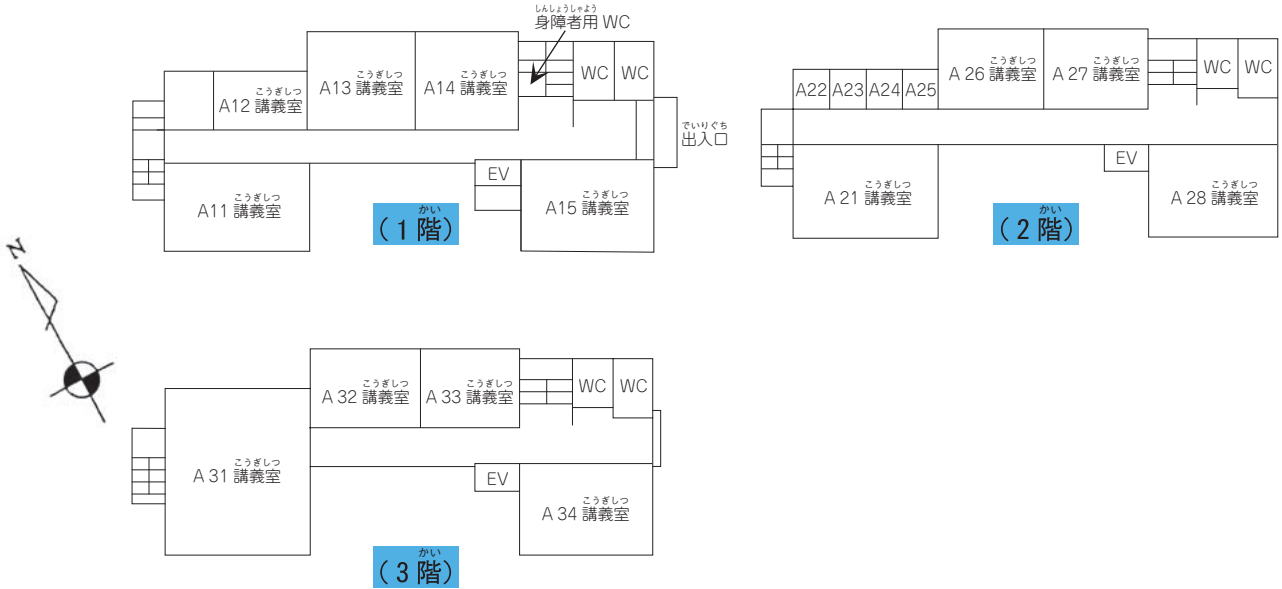
だい かいめ じゅぎょうじっし
第1回目の授業実施
 きょういん ほぞんよう ていしゅつ
〈教員保存用〉カードの提出
 かくぜんがく む じゅぎょうたんとうきょういん
[各全学向け授業担当教員]
 たんとうきょういん じゅこうちようせい
⇒担当教員による受講調整

4月10日(金)
 ~24日(金)
 9:00~17:00

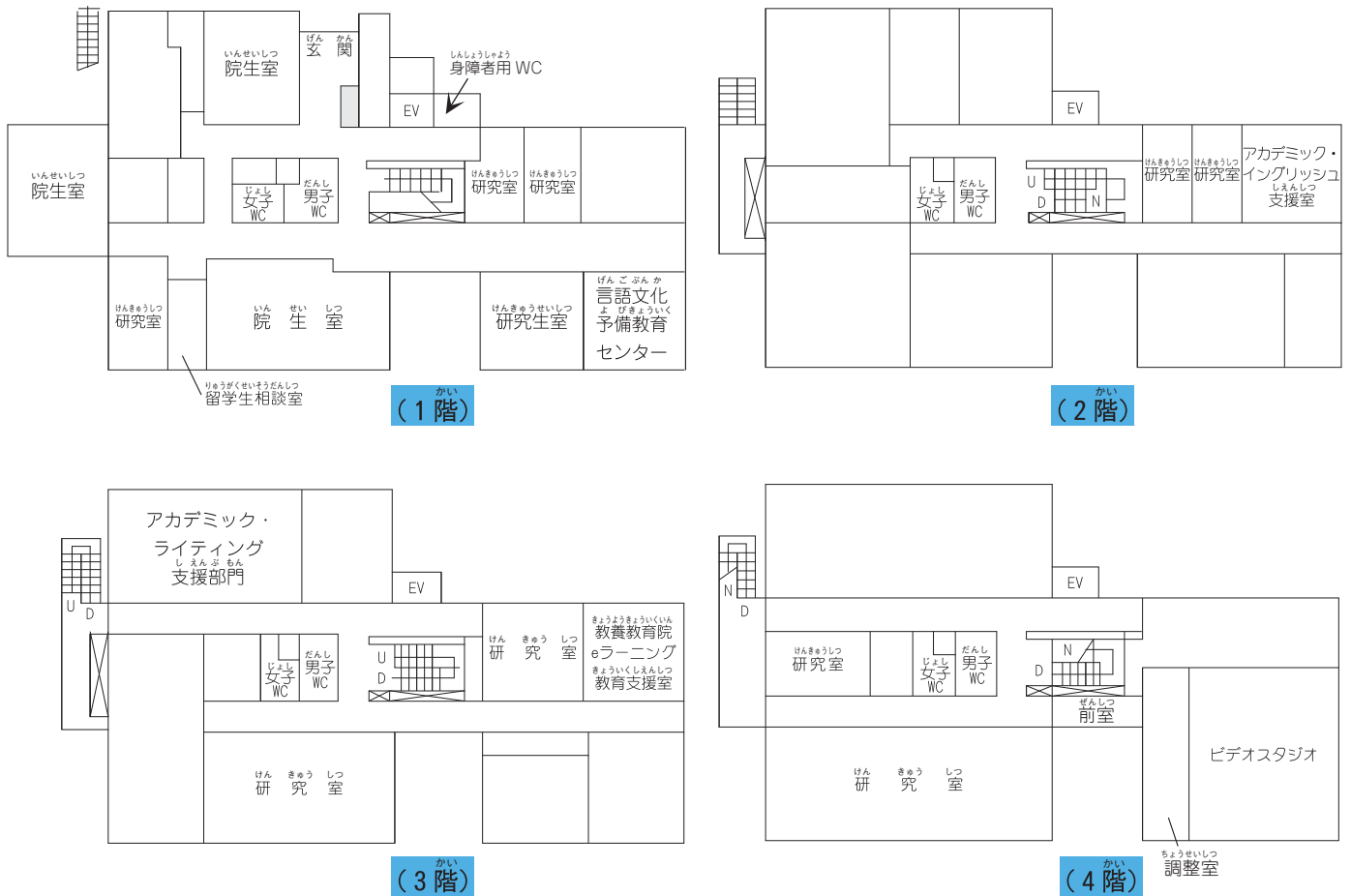
じゅこうとうろく てつづき
受講登録手続
 じ む しつ ほぞんよう ていしゅつ
〈事務室保存用〉カードの提出
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こ ぶん か けんきゅう か まどぐち
[文系教務課 (国際言語文化研究科) 窓口]
 じゅこうもうしこみ ていしゅつよう
[「受講申込カード提出用ボックス」]
 ぶんけいそうごうかん かい
[文系総合館1階]

ぜんがくきょういこう こくさいげんごぶんか けんきゅうか どうおよ ぶんけいそうごう かんきょうしつとうはいちず
全学教育棟・国際言語文化研究科棟及び文系総合館教室等配置図

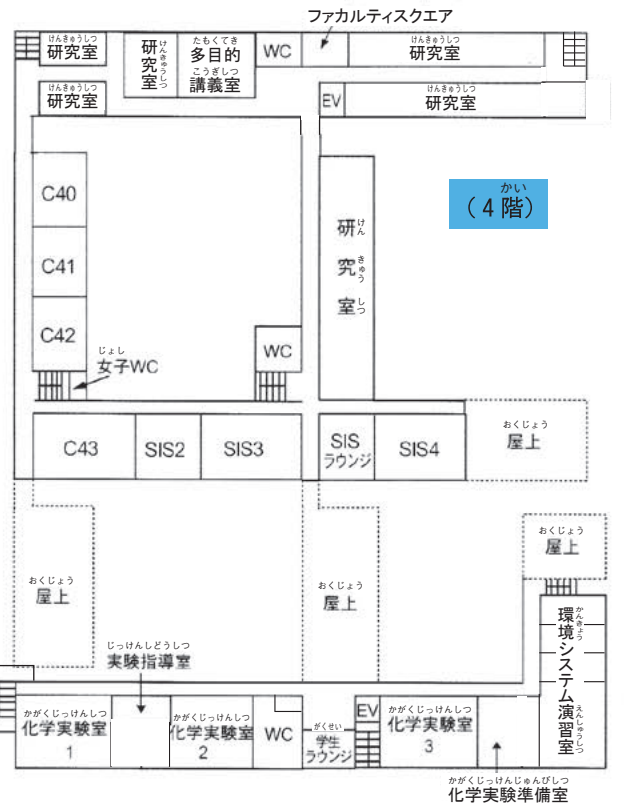
ぜんがくきょういこう かん
《全学教育棟 A館》



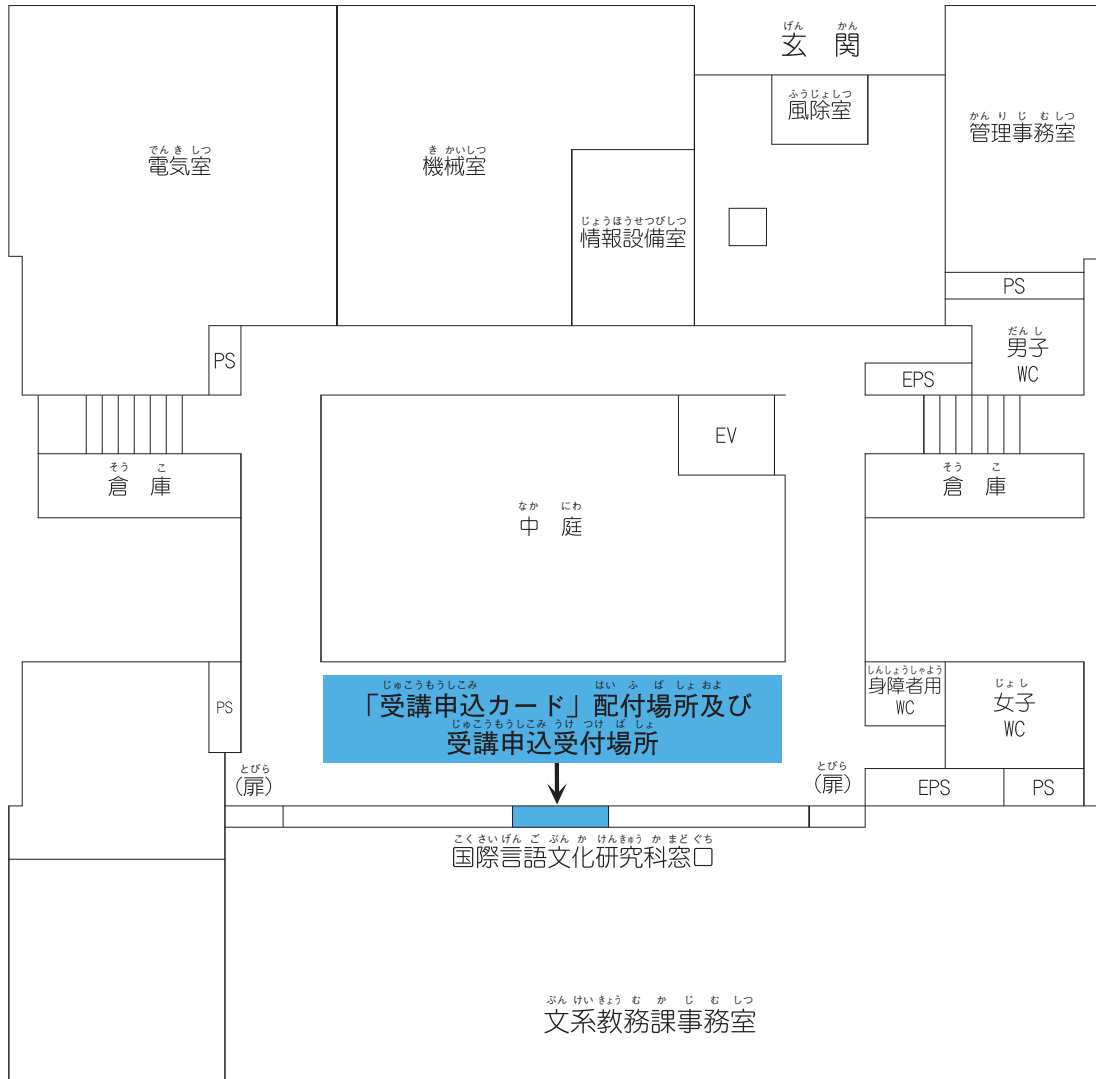
こくさいげんごぶんか けんきゅうか どう
《国際言語文化研究科棟》



ぜんがくきょういこうほんかん じょうほうぶん か がく ぶ
 《全学教育棟本館（情報文化学部）》



ぶんけいそうごうかん
文系総合館 1F



(1階)



ねん ど ぜん き じゅぎょう じ かんわりひょう
2015年度前期・授業時間割表

がいこく こ とくべつけんしゅう
「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記 号	担 当 教 員	曜 日 (時限)	教 室	定 員	備 考
英 語	特別英語セミナー (Writing)a	A	POTTER Simon Raymond	火 2	A28	20	
	特別英語セミナー (Writing)a	B	HAIG EDWARD	火 3	C22	20	
	特別英語セミナー (Writing)a	C	TOOHEY David	木 4	C40	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	D	WEEKS Mark Charles	火 3	C30	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	E	WEEKS Mark Charles	火 4	C22	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	F	TOOHEY David	水 4	サブラボB	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	G	NILEP Chad Douglas	金 4	C20	20	
	特別英語セミナー (Reading)a	H	NILEP Chad Douglas	木 2	S21	20	
	特別英語セミナー (Reading)a	I	CROSS Jeremy D.	水 4	S13	20	
	特別英語セミナー (Certificate Tests)a	J	岩 城 奈 巳	火 2	CALL3	20	前期のみ
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1a		梶 浦 直 子	水 1	C40	20	後期に継続
	ドイツ語 Level 2a		RUDE Markus	金 3	C12	20	後期に継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1a		藤 村 逸 子	火 5	C34	20	後期に継続
	フランス語 Level 2a		BAUMERT Nicolas	月 5	A21	20	後期に継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1a		郡 敏 子	火 2	A12	20	
	ロシア語 Level 2a		山 崎 タチアナ	金 4	C21	20	
中 国 語	中国語 Level 1a		辻 千 春	水 1	S12	20	後期に継続
	中国語 Level 2a		劉 欣	水 3	A13	20	
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1a		宮 下 克 子	水 4	S14	20	後期に継続
	スペイン語 Level 2a		川 田 玲 子	木 4	C41	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1a		荒 井 慶 子	金 3	C20	20	後期に継続
	朝鮮・韓国語 Level 2a		金 賢 珍	金 4	C22	20	後期に継続
ポルトガル語	ポルトガル語 Level 1a		重 松 由 美	火 2	A34	20	後期に継続
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1a		A. Sciuca	水 4	S15	20	後期に継続

注) 講義室の表示について

- Cで始まるもの、CALL教室、サブラボ ⇒ 全学教育棟本館
 ○Aで始まるもの ⇒ 全学教育棟A館
 ○Sで始まるもの ⇒ 全学教育棟本館南棟

ねんごこうき じゅぎょうじかんわりひょう
2015年度後期・授業時間割表

がいこくごとくべつけんしゅう
「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記 号	担 当 教 員	曜 日 (時限)	教 室	定 員	備 考
英 語	特別英語セミナー (Writing)b	A	WEEKS Mark Charles	火 2	C33	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	B	NILEP Chad Douglas	木 3	C14	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	C	HAIG EDWARD	金 2	C34	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	D	CROSS Jeremy D.	火 2	S2X	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	E	POTTER Simon Raymond	水 4	S12	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	F	NILEP Chad Douglas	木 2	S2Y	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	G	WEEKS Mark Charles	火 3	C10	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	H	CROSS Jeremy D.	月 4	S13	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	I	TOOHEY David	水 4	S13	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		白 川 茜	水 2	C20	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
	ドイツ語 Level 2b		ル ー デ マルクス	金 3	C21	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1b		新 井 美佐子	木 5	A13	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
	フランス語 Level 2b		BAUMERT Nicolas	月 5	C34	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b		SAVELIEV IGOR	火 2	C43	20	
	ロシア語 Level 2b		山 崎 タチアナ	金 4	C21	20	
中 国 語	中国語 Level 1b		辻 千 春	水 2	S12	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
	中国語 Level 2b		前 田 光 子	月 3	C11	20	
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b		A. Villalobos	水 4	S14	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
	スペイン語 Level 2b		川 田 玲 子	木 4	A28	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		荒 井 慶 子	金 3	C22	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		金 賢 珍	金 4	C22	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
ポ ル ト ガ ル 語	ポルトガル語 Level 1b		重 松 由 美	火 2	A12	20	ぜんき けいぞく 前期から継続
オ ラ ン ダ 語	オランダ語 Level 1		小 坂 光 一	水 2	CALL2	20	こうき 後期のみ
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b		A. Sciuca	水 4	S15	20	ぜんき けいぞく 前期から継続

注) 講義室の表示について

- Cで始まるもの、CALL教室、サブラボ ⇒ 全学教育棟本館
 ○Aで始まるもの ⇒ 全学教育棟A館
 ○Sで始まるもの ⇒ 全学教育棟本館南棟

がいくこご とくべつけんしゅう
〈外国語特別研修コース〉

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授 業 内 容
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) a</p>	<p>ぼっ たー POTTER さいもん Simon れい もん ど Raymond</p>	<p>火2</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The purpose of this course is to provide an opportunity for reasonably good writers of the English language to practice and to improve their skills.</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 Only students who have met whatever institutional requirements that have been established may enroll.</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 Each week will be devoted to writing about a theme which is related to a chapter in the course book. Students will be expected to read the chapter, search for supplementary information, and write an essay of 500-600 words each week (although occasionally, and depending on the circumstances, a longer essay might be assigned). In class, there will be discussion of the themes and relevant advice about writing effectively in English.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 The course grade will be determined by summing the scores earned from the weekly essays (the scoring system will be explained early in the course).</p> <p>きょうかしょ 教科書 There will be a course book, and details will be provided in the first class meeting.</p> <p>さんこうしょ 参考書 At least one regular dictionary for working with the English language is recommended.</p> <p>ちゅういじこう 注意事項 Please see below, under "web page," where the programmers provided more space for a message.</p> <p>じゅこうしゃ 受講者へのメッセージ Notes: The essays will have to be written before the assigned class and turned in upon request, most commonly just after the class has begun; late submissions will not be accepted. Also, please come to class ready to discuss your essay and the assigned chapter in the course book.</p> <p>To be fair to students who are properly enrolled in the course, anybody who wishes to join but "not need the credits" (or something similar) will not be allowed in.</p> <p>Please note that this is not a remedial course or a chance to meet somebody who you might like to persuade to "correct" your English, edit your degree thesis, or such like.</p>

授業科目 じゆぎょう か もく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ しじげん 時限	定員 ていいん	授業 ない 内容 よう 容
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) a</p>	<p>へいぐ HAIG えどわーど EDWARD</p>	<p>火3</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい</p> <p>The overall purpose of this advanced level writing course is to develop students' academic and professional English writing skills and help them gain self-confidence in writing a variety of different kinds of texts. Specifically, the course aims to teach students how to write more skillfully through the use of an extensive reading based report writing approach. Through this course, students will have a chance improve their writing, reading and speaking abilities and to share ideas about the books they have read.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容</p> <p>In this course, students will write reports on the books they read. They will then take it in turns to give short (approximately 10 minute) oral slide-based presentations in English on books that they have read and any particular difficulties they encountered in reading them. The aim of the course is to break away from dependence on textbooks or simulated communication organized by the teacher and move instead towards genuine communication organized by the students themselves. Accordingly, students will not be obliged to write about particular books but will be free to write about any books that interest them and which they feel will interest their classmates. However, given that this is an advanced class, it is hoped that students will choose to write at least one report about a book related to their academic or professional interests.</p> <p>Students will be expected to write either two or three reports, depending on the number of participants who take the course. Students must prepare, edit and proofread their written reports carefully. While each student is giving their presentation, based on their reports, the other students will take notes, either in English or Japanese. After each presentation there will be a follow-up question and answer / discussion session in English and the teacher will provide the presenter with detailed personalized feedback on his or her report and presentation performance and give advice on how to improve their writing, reading and speaking skills.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法</p> <p>For this course the grade will be based on the class-based activities (specifically: report writing 60%, presentations based on the reports 20%, note-taking 10%, participation 5%) and attendance 5%.</p> <p>きょうかしょ 教科書</p> <p>None. However, students will be responsible for producing copies of their reports for the instructor and the other participants when they give their presentations.</p> <p>ちゆういじこう 注意事項</p> <p>5回以上 授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。</p> <p>じゆこうしゃ 受講者へのメッセージ</p> <p>Always expect the unexpected!</p>

授業科目 じゆぎょうかもく	担当教員 たんとうきょういん	曜日・ しげん 時限	定員 ていいん	授業 ない 内容 よう 容
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) a</p>	<p>とらうーいー TOOHEY でいびつど David</p>	<p>木4</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょうもくてき 本授業の目的およびねらい The purpose of this class is to help students gain confidence and skill in academic writing. Students will improve their ability to write clearly and logically.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 We will work on advanced academic writing structures. We will learn strategies to do the following things: 1) Understanding different types of academic writing; 2) writing thesis statements; 3) incorporating evidence into well-structured paragraphs; and 5) various ways to incorporate ideas that we disagree with Week 1: Class Introduction [Free writing] Week 2: Journal Articles: Components, purposes, evaluations Week 3: Journal Articles: Literature Reviews Week 4: Academic Books: Components, purposes, evaluations Week 5: References and Reference Lists: How to make and read them Week 6: Book reviews Part 1: How to write them Week 7: From thesis statements to topic sentences and conclusions Week 8: Evidence and well-structured paragraphs Week 9: Using film and literature in paragraphs Week 10: Using numerical evidence in paragraphs Week 11: Using juxtaposition in essays Week 12: Acknowledging Part 1: Showing you read other debates Week 13: Acknowledging Part 2: Dismissing other debates Week 14: Discussing ideas we partially agree with Week 15: Book reviews part 2: Politely critiquing ideas</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 In class quizzes (20%); class participation (especially writing and giving evaluative feedback to other students (30%); and a final paper (50%).</p> <p>きょうかしょ 教科書 The teacher will prepare handouts for students. Students will be responsible for distributing an appropriate amount of photocopies of their writing in their class. Please bring a dictionary to all classes.</p> <p>ちゅういじこう 注意事項 5回以上 授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。</p> <p>じゆこうしゃ 受講者へのメッセージ Note: this is an advanced class. As such, teacher and student feedback will focus on writing structure and strategy rather than grammar and spelling.</p>

授業科目 じゆぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ 時間 ようび じげん	定員 ていいん	授業内容 じゆぎょう ないよう
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) a</p>	<p>ういーくす WEEKS まーく Mark チャーるず Charles</p>	<p>火3</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The main aim is to give participants opportunities to develop skills and confidence for international communication. Presentations are the core element; however, general discussion and conversation skills are practiced regularly throughout the course to help students prepare for future cross-cultural situations and to enjoy them.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 Classes are conducted in a relaxed, informal atmosphere. While brief instruction is given on important aspects of presentations, the emphasis is on free exchange of ideas and student participation. To that end, we will be seated in groups with different partners each class to maximize English communication opportunities.</p> <p>The course contains discussion and practice loosely according to the following outline:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation, greetings, warm up discussions 2. Overcoming nervousness and enjoying presenting 3. Clear presentation structure 4. English expressions for clear organization 5. Delivery: voice, body language 6. Techniques and language for stress-free question time 7-9. Mid-term presentations 10. Effective slide design and use of slide software 11. Techniques and vocabulary for conversation at international events 12-14. Final presentations 15. Course review <p>All classes will contain some informal discussion time to develop skills and confidence for international communication contexts.</p> <p>せいせきひょうかほうほう はっぴょう しゅくだい しゅっせきなど 成績評価方法 発表 (50%) ; 宿題 (10%) ; 出席等 (40%)</p> <p>きょうかしょ なし 教科書 無 . All materials provided by instructor</p> <p>さんこうしょ 参考書 A dictionary for using English.</p> <p>じゆこうしゃ 受講者へのメッセージ Presentations are an increasingly important activity in communication across cultures. At the same time, they are also a context in which we can express our ideas and develop our communicative confidence. Let's challenge ourselves to take a further step out into the world.</p>

<small>じゆぎよう か もく</small> 授業科目	<small>たん とう きよういん</small> <small>たん とう きよういん</small> 担当教員	<small>よう び</small> <small>曜 日 ・</small> <small>じ げん</small> <small>時 限</small>	<small>てい いん</small> <small>定 員</small>	<small>じゆ</small> <small>ぎよう</small> <small>ない</small> <small>よう</small> <small>授</small> <small>業</small> <small>内</small> <small>容</small>
<small>とくべつえいご</small> 特別英語 セミナー (Presentation) a	<small>う い ー く す</small> WEEKS <small>ま ー く</small> Mark <small>ち ゃ ー る ず</small> Charles	火4	20	<small>ほんじゆぎよう もくてき</small> 本授業の目的およびねらい The main aim is to give participants opportunities to develop skills and confidence for international communication. Presentations are the core element; however, general discussion and conversation skills are practiced regularly throughout the course to help students prepare for future cross-cultural situations and to enjoy them. <small>じゆぎようないよう</small> 授業内容 Classes are conducted in a relaxed, informal atmosphere. While brief instruction is given on important aspects of presentations, the emphasis is on free exchange of ideas and student participation. To that end, we will be seated in groups with different partners each class to maximize English communication opportunities. The course contains discussion and practice loosely according to the following outline: 1. Orientation, greetings, warm up discussions 2. Overcoming nervousness and enjoying presenting 3. Clear presentation structure 4. English expressions for clear organization 5. Delivery: voice, body language 6. Techniques and language for stress-free question time 7-9. Mid-term presentations 10. Effective slide design and use of slide software 11. Techniques and vocabulary for conversation at international events 12-14. Final presentations 15. Course review All classes will contain some informal discussion time to develop skills and confidence for international communication contexts. <small>せいせきひょうかほうほう</small> <small>はっぴよう</small> <small>しゅくだい</small> <small>しゅっせきなど</small> 成績評価方法 発表 (50%) ; 宿題 (10%) ; 出席等 (40%) <small>きょうかしょ</small> <small>なし</small> 教科書 無 . All materials provided by instructor <small>さんこうしょ</small> 参考書 A dictionary for using English. <small>じゆこうしゃ</small> 受講者へのメッセージ Presentations are an increasingly important activity in communication across cultures. At the same time, they are also a context in which we can express our ideas and develop our communicative confidence. Let's challenge ourselves to take a further step out into the world.

授業科目 じゆぎょうかもく	担当教員 たんとうきょういん	曜日・ しげん 時限	定員 ていいん	授業 ない 内容 よう 容
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) a</p>	<p>とーいー TOOHEY でいびつど David</p>	<p>水4</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょうもくてき 本授業の目的およびねらい The purpose of this presentation class is for students to improve their presentation skills by doing presentations and by evaluating other students' presentations. Students will focus on improving the content of their presentation as well as non-content skills.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 Students will learn strategies for effective presentation through: a) in class lectures: b) readings about presentation strategies; c) doing presentations; and d) receiving student and teacher feedback. Students will provide feedback. The teacher will give detailed feedback on the presentation.</p> <p>Week 1: Introduction Week 2: Academic Presentations [Watch videos of academic presentations] Week 3: TED Talks [evaluate quality of TED Talks] Week 4: Effective hand gestures Week 5: Presentations using hand gestures Week 6: Political presentations: words, pauses, tone of voice, volume of voice and persuasion. Week 7: Shadowing political presentations Week 8: Presentations incorporating words, pauses, tone of voice, and volume changes. Week 9: Using conjunctions effectively in your presentation Week 10: Avoiding information overload: Dual Channel Communication Week 11: Avoiding information overload: PowerPoint Handouts Week 12: Presentation formats effectively using PowerPoint Week 13: Making notes style handouts Week 14: Final Presentations Week 15: Final Presentations</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 For this course the grade will be based on the class-based activities: presentations 60%; quality of presentation handouts 15%; quality of feedback given to other students 25%.</p> <p>きょうかしよ 教科書 The teacher will give handouts with readings on various presentation skills and strategies. In addition the students are responsible for distributing handouts for their own presentations. Please bring a dictionary.</p> <p>ちゅういじこう 注意事項 5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。</p>

授業科目 じゆぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ じげん 時限	定員 ていいん	授業 ない 内容 じゆぎょう ない よう
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) a</p>	<p>なにいれつぷ ちゃど NILEP Chad だぐらす Douglas</p>	<p>金4</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their presentation skills, including writing, speaking, and presenting in formal academic contexts.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 We will discuss the basic guidelines for designing a presentation and delivering it orally. Students will prepare presentations based on their own research or interests, respond appropriately to other student's presentations, and engage in discussions. Each week, we will hear student presentations and offer feedback to the presenters. Each student will deliver several presentations; the exact number depends on the number of students enrolled.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Grades are based on presentations, including preparation, voice, eye contact, presentation style, and the content of prepared speeches. In addition, students must attend and participate in class meetings.</p> <p>きょうかしよ 教科書 Reading assignments are on the course website.</p> <p>さんこうしよ 参考書 None is required, but an English dictionary may be useful.</p> <p>じゆこうしや 受講者へのメッセージ A password is required to access the web page. It will be announced during the first class meeting. The content of this class is essentially the same as とくべつえいご 特別英語セミナー (Presentation) b from the same instructor.</p>
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Reading) a</p>	<p>なにいれつぷ ちゃど NILEP Chad だぐらす Douglas</p>	<p>木2</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their reading skills by reading both short fiction and essays and discussing personal reactions.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 We will practice reading a variety of authentic materials. This includes short stories and newspaper reports and essays on politics, economics, and society written in English for English speakers. Students will also practice extensive reading outside of class by choosing their own reading materials and keeping a journal.</p> <p>Class is structured around discussions. Each week you will read some material before coming to class. You will comment on the reading using NUCT message boards. In class, you will discuss this material with other members of the class, offering your reactions and understandings.</p> <p>Course readings alternate between non-fiction essays and fictional short stories.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Grades are based on in-class discussion, message boards, participation in class, and written responses to your reading, including a reading journal.</p> <p>きょうかしよ 教科書 Readings will be linked from the course website.</p> <p>さんこうしよ 参考書 None are required, but an English dictionary may be useful.</p> <p>じゆこうしや 受講者へのメッセージ A password is required to access the web site. It will be announced at the first class meeting. A detailed schedule, assignments, and course readings are included on the web site.</p> <p>The course will also use NUCT. Enrolled students should be automatically added to NUCT. Please inform the instructor if there are any problems.</p>

授業科目 じゆぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ 時間 ようび じげん	定員 ていいん	授業内容 じゆぎょう ないよう
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Reading) a</p>	<p>くろす CROSS じえれみー Jeremy D.</p>	<p>水4</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 特別英語セミナー (Special English Seminar, SM) は上級者向けにオ ビ外に置かれ、さらに高度な英語運用能力を身につける機会を提供する ために開講する授業である。特別英語セミナー (リーディング) (Special English Seminar Reading, SMR) は言語文化I授業で培った英語リーデ ィングの力をさらに高いレベルにまで延ばすことを目的とする。</p> <p>りしゅうじようけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 検定試験の成績による受講制限あり。</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 This class focuses on exploring texts of interest to students through reading on various topics and preparing and participating in related discussions and presentations. Extensive reading outside the class is also required.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 In addition to the information in the Notice for students below, students will be assessed in class on reading preparation, discussion participation and small group and class presentations.</p> <p>ちゅういじこう かい い じようけつせき ぼあい けつせき ひょうか りしゅうと 注意事項 5回以上欠席をした場合、「欠席」の評価がつく。履修取り 下げ制度を採用しない。</p> <p>じゆこうしゃ 受講者へのメッセージ This course is conducted in English.</p>
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Certificate Tests) a</p>	<p>いわき なみ 岩城 奈巳</p>	<p>火2</p>	<p>20</p>	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 本授業は留学を目指す学生を対象に、TOEFL 受験の準備を行う。</p> <p>りしゅうじようけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 英語に対する意欲。TOEFL-iBTで71点、(CBT:197、PBT / ITP : 530)、TOEIC 672点、英検準1級以上のスコア保持者。</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 TOEFLには、リーディング、リスニング、スピーキング、ラ イティングと4セクションあるが、この講義では留学で最も必要とされて いるライティングを中心におこなう。課題は毎回提出、時間内に解答、そ の後解説をする。本講義では、グループワーク、ペアワークを中心に行い、 クラス内全員で協力し合い、共に学んでいくスタイルをとる。参加学生の 積極性を求める。</p> <p>せいせきひょうかほうほう しゅつせき じゆぎょうたいど じゅうし 成績評価方法 出席、授業態度を重視する。グループワーク、提出物と 試験結果をあわせた総合評価をおこなう。</p> <p>きょうかしょ ずいじ はいふ しょう 教科書 随時プリント配布またはウェブ使用する。</p> <p>さんこうしょ ずいじ しょうかい 参考書 随時紹介する。</p> <p>ちゅういじこう ちこくげんきん けつせき かい たんい ほうき 注意事項 遅刻厳禁。欠席3回で単位放棄とみなす。</p> <p>じゆこうしゃ 受講者へのメッセージ この授業は留学を目指す学生を対象とする。一人 で机にむかって黙々と与えられた課題に取り組むことは自分の時間に出 来るので、ディスカッション、ペアワークを取り入れ、本試験の準備に取り 組んでいく。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ドイツ語 Level 1a	梶浦 直子	水1	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 本授業では基本的なコミュニケーションに必要な表現や文法を定着させる練習を中心に、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の能力をバランスよく培うことを目指します。また、多様なドイツ語の学び方も身につけていきます。</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 この授業は後期水曜2限白川先生の授業に引き継がれます。</p> <p>じゅぎょうないよう この じゅぎょう かく か もんだいはっけん ぶんぼう 授業内容 この授業は各課「問題発見、文法」、DVDによる「スケッチ」、「練習」の順に進められます。ペアワーク、グループワークを多く取り入れ、文法を理解するだけでなくドイツ語を運用する力を付けていきます。また、コミュニケーションに不可欠な適切な発音ができるようにしていきます。今期は4課まで進めていきます。</p> <p>おも ないよう い か とお 主な内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶する、自己紹介する 2 紹介する、趣味や好みについて述べる 3 道をたずねる 4 事物について述べる <p>おも あつか ぶんぼうこうもく 主に扱う文法項目： 人称代名詞、動詞の現在人称変化、名詞の性、不規則動詞、定冠詞、不定冠詞、否定冠詞</p> <p>せいせきひょうかほうほう じゅぎょうさん か ど ちゅうかん ていき しけん 成績評価方法 授業参加度(30%) + 中間テスト(30%) + 定期試験(40%) 5回以上欠席した場合、定期試験を受験しない場合は「欠席」とします。</p> <p>きょうかしょ 教科書 Riessland 他『Modelle 1 neu 問題発見のドイツ語改訂版』三修社 ISBN9784384122480</p> <p>ちゅういじこう しじ が ない かり じしょ など しよう 注意事項 指示がない限り辞書、PC、スマートフォン等は使用しないこと。</p>
ドイツ語 Level 2a	ルーデマルクス	金3	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読む、聞く、話す、書くの言語能力を高める 2. グループワークで自学習の力を身につける 3. プレゼンテーション能力を高める 4. ドイツ語圏の生活と文化の知識を深める <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 基礎ドイツ語を学んでいること。</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 Fuer diesen Kurs gibt es kein Lehrbuch, Sie bekommen Handouts in der Größe A4 oder MP3-Files. Das wichtigste Lernmittel ist Ihr Notizheft.</p> <p>この授業では教科書を使用せず、A4サイズのプリントやMP3ファイルを配布します。一番大事な物はあなたのノートです。</p> <p>Die Handouts enthalten meist deutsche Texte, manchmal Lieder auf Deutsch, die haeufig ein Spiegel der Kultur sind. Dazu gibt es Uebungen und Hausaufgaben. Jede Stunde beginnt mit einer Frageuebung komplett auf Deutsch, in der Sie mit oder ohne Hilfsmittel auf meine Fragen antworten; diese integriert und entwickelt die ganz oben genannten vier Fertigkeiten der deutschen Sprache</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ドイツ語 Level 2a	ルーデ Markus	金3	20	<p>プリントには主にドイツ語のテキスト、時々ドイツ語圏文化を反映した歌を取り入れています。授業のグループワークで使用する練習問題や宿題も含まれます。毎回の授業は質問練習で始め、その場で質問に答えてください。この時にノートを見てもかまいません。この質問練習はすべてドイツ語で行うので、一番上に書いた四つのドイツ語能力を総合的に養います。</p> <p>In studentischen Praesentationen wird sowohl Vortragen als auch Diskutieren geübt. Die Inhalte dabei sind persönlich (Familie, Hobby usw.) oder fachlich (Studienfach, Umwelt usw.).</p> <p>プレゼンテーションによって発表やディスカッションも練習します。一年で、個人的な内容（家族、趣味等）や専門的な内容も（専攻、環境等）扱います。</p> <p>成績評価方法 出席点(約30%)、ミニテストやプレゼンテーション、課題、授業での活動(積極的なグループワークと発言など)、初回の授業で説明します。</p> <p>参考書 授業時に追って指示する。</p> <p>注意事項 初日はかならず出席して下さい。出席は80%以上必要です。授業の説明は主に英語で行います。わからなければ、すぐに聞いてください。日本語でもかまいません。</p> <p>質問練習では：(1) 答えは、はっきり聞こえる声で言う。(2) 指名されてから辞書を引くのは禁止。(3) わからないときは質問してください。</p> <p>受講者へのメッセージ Und jedem Anfang wohnt ein Zauber inne, der uns beschuetzt und der uns hilft zu leben.</p> <p>およそ事の初めには不思議な力が宿っている。それがわれわれを守り、生きるよすがとなる。</p>
フランス語 Level 1a	藤村 逸子	火5	20	<p>本授業の目的およびねらい</p> <p>フランス語の基本的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>新たにフランス語を始める学生のためのクラス。</p> <p>授業内容 文法、読解、文化、コミュニケーションの四つの要素を豊かに取り入れた総合的な教材を使い、週一度の授業で一年間かけてフランス語の基礎を修得する。後期月曜5限の授業に接続する。</p> <p>週一コマのクラスであるが、この授業にきちんとついてきて、教科書を使って自習すれば、一年後にはフランス語の文章を読んだり、フランス語会話がそこそこできたりするまでになる。文法項目は1年次の終わりに、初級文法を修了する。</p> <p>成績評価方法 平常点と筆記試験。</p> <p>教科書 『新c d フランス語文法』大木他著、朝日出版社</p> <p>参考書 授業中に指示する。</p> <p>注意事項 定員は20名。</p> <p>受講者へのメッセージ 楽しくがんばりましょう。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 日限	定員	授業内容
フランス語 Level 2a	ぼーめーる BAUMERT ニコラ Nicolas	月5	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい いま がくしゆつ こん じっさい つか かいわ さくぶん れんしゆつ 今まで学習したフランス語を実際を使って、会話・作文などの練習をする。</p> <p>フランス語圏の社会・文化についての知識を獲得できるようにする。</p> <p>じゆぎょうないよう じゆぎょう いま なら こん きき そ さまさま 授業内容 授業は、今まで習ったフランス語を基礎として、様々なテーマを用いて聞き取り、読み書きなどを練習します。</p> <p>かくしゆつ ないよう しょうさくぶん さくせい こん 隔週でテキストやビデオを使用し、内容について小作文を作成しその後グループでディスカッションをします。</p> <p>テーマは、フランス地方について、フランス語圏(ケベック、ベルギー、スイス)の歴史や文化についてです。</p> <p>せいせきひようかほうほう じゆぎょうさん か ど しゆくだい はっぴよう きまつ 成績評価方法 授業参加度20% 宿題/発表40% 期末テスト40%</p> <p>きょうかしよ 教科書 プリント</p> <p>さんこうしよ 参考書 授業の中で、適宜指示をする。</p>
ロシア語 Level 1a	こおり 郡 とし 敏 こ	火2	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい こ せかい にほん し こんせいてき ロシア語の世界には、日本ではあまり知られていないけれども、個性的な文化や重要な学問の蓄積が豊富にあります。そのような世界にアクセスするための土台をつくることをめざします。</p> <p>まず、ロシア語の発音と文字の読み方・書き方を習得し、有用な表現を覚えながら基本文法を確実に身につけていきます。</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 ロシア語の基礎体力をつけることを主眼にした教科書を使用し、文法や語彙の説明をしたあと、練習問題を解きます。授業での口頭練習に積極的に取り組んでください。</p> <p>およそ次のような内容を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベットと発音 2. 名詞の性・数 3. 基本的な平叙文と疑問文 4. 所有代名詞・形容詞の性・数 5. 動詞の変化: 不定形、現在形、過去形、未来形 6. 名詞の格変化: 主格、前置格、生格、対格、与格、造格 7. 人称代名詞・形容詞の格変化 8. 運動の動詞と運動の目標の表現 9. 動詞の体: 完了体、不完了体 10. 無人称文 11. 時間の表現 <p>せいせきひようかほうほう じゆぎょうちゆう と く よしゆう かい ふくしゆう ていき しけん 成績評価方法 授業中の取り組み・予習・課題・復習(50%)と定期試験(50%)で評価する。</p> <p>きょうかしよ くわの たかし 教科書 桑野隆『はじめてのロシア語(第2版)』白水社</p> <p>さんこうしよ じしよ はくしゅうしゃ こじてん けんきゅうしゃろ わじてん いっ 参考書 辞書は『博友社ロシア語辞典』『研究社露和辞典』のうちから一冊を購入してください。</p> <p>すいせんさんこうしよ さとうじゆんいち しん こにゅうもん にほんほうそう 推薦参考書: 佐藤純一『NHK新ロシア語入門[CDブック]』日本放送出版協会。</p> <p>ちゅういじこう みち せかい まど よしゅう ふくしゅう わす たの ちゃくじつ 注意事項 未知の世界への窓です。予習・復習を忘れず、楽しく着実にロシア語を身につけましょう。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ロシア語 Level 2a	やまざき 山崎 タチアナ	金4	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 基礎レベルのロシア語文法を再確認すること。特に、ロシア語の格に用いられる前置詞を改めること。 ロシア語の語彙をさらに増やすこと。 講師がネイティブであるメリットを有効に使いながら、生きた会話の練習をすること。 ロシアという隣国の理解を深めること。 ロシア語会話能力を身につけること。 <p>りしゅうじょうけん かんれん かもくどう 履修条件・関連する科目等 ロシア語の基礎コースを修了した学生、大学院生、教員等。</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 「～手元に、傍らに」(生格の前置詞を使って典型的な言い回しを習得する) 「～の中から、～より」(生格の前置詞を使って「発生、出身、出所」の言い回しを習得する) 「～まで、～手前」(生格の前置詞を使って「時間と空間の制限」の言い回しを習得する) 「～の許へ、～に沿って」(与格の前置詞を使って言い回しを習得する) 「～の方へ」(対格の前置詞を使って「目的地、行き先」の表現を習得する) 「～の後ろへ」(対格の前置詞を使って「人間の動作」を表す言い回しを習得する) 「～として」(造格の前置詞を使って「職業、身分」を表す言い回しを習得する) 「～によって、使って」(造格の前置詞を使って「道具や手段」を表す言い回しを習得する) 「～の上方、下方、バック」(造格の前置詞を使って「ものの配置」の表現を習得する) 「～付いて、付属」(前置格の前置詞を使って「位置関係」の表現を習得する) 「～の中で、上に」(前置格の前置詞を使って「居場所、位置」の表現を習得する) 「～について」(前置格の前置詞を使って「話題」の表現を習得する) 「格を当てよう」(前置詞のある文章を使ってロシア語の格をクイズ形式で復習する) 「前置詞を当てよう」(ロシア語の言い回しをクイズ形式にして空白の前置詞を当てる) 授業の総括 <p>ほんじゅぎょう 本授業において、ロシア人が普段よく使う数多くの前置詞を基礎文法と共に確認しながら、それらを用いる会話的表現をマスターすることを目指します。その目標を達成するため授業の冒頭に小テストを行います。</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 期末試験60%、平常点20%、小テスト20%。履修取り下げ制度を採用する。</p> <p>きょうかしょ 教科書 プリント配布</p> <p>さんこうしょ 参考書 露和辞典、和露辞典、前年度の教科書等</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ロシア語 Level 2a	やまざき 山崎 タチアナ	金4	20	<p>ちゅういじこう 注意事項 ロシア語の文法表を必ず持参すること。</p> <p>じゅぎょう 受講者へのメッセージ 隣人、隣国を知るには先ずその言葉を理解することが重要です。受講生は、間違いを恐れずに積極的に授業に臨むことを期待します。人間活動における様々なロシア語の言い回しや慣用句を習得して、中級ロシア語をマスターすることを目指しましょう。</p>
中国語 Level 1a	つじ ち はる 辻 千 春	水1	20	<p>ほんじゅぎょう 本授業の目的およびねらい</p> <p>ちゅうごく 中国語を初めて学ぶ受講生を対象とする。「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく総合的に身につけ、中国語に親しむことを目指す。また言語習得の一助となるようその背景にある、文化・習俗・歴史・政治・社会事情などについても視聴覚メディアなどを通じて学び、中国語文化圏についての理解を深めていく。</p> <p>りしゅうじょうけん 履修条件・関連する科目等</p> <p>ちゅうごく 中国語 Level 1b は、この中国語 Level 1a を継続するものである。</p> <p>じゅぎょう 授業内容 中国語の初級段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。まず、411個の音節を、声調を伴って正確に発音できるよう指導する。その上で、基本文法の理論的な説明だけでなく、身近な分かりやすい実用的例文を多く学習すること、語順・基本文型等について、日本語や英語と中国語の比較を行うことにより、中国語の基礎固めを達成する。また、言葉の勉強を通じて、中国社会の現状や中国人のものの見方や考え方等についての理解も促す。</p> <p>ぐたいぎ 具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語概説、発音（1）声調（四声）、単母音 2. 発音（2）韻母、ピンイン表記の規則 3. 発音（3）声母 ほか 4. 発音（4）変調、挨拶表現 ほか 5. 中国語の文構造の大枠、人称代名詞、動詞「是」 ほか 6. 助詞「的」、疑問詞、語気助詞「呢」 ほか 7. 動詞述語文、連動文 指示代名詞のバリエーション ほか 8. 形容詞述語文、願望の助動詞 ほか 9. 数詞、動詞「有」、比較表現 ほか 10. 時態助詞「過」、「在」の用法（1）前置詞 ほか 11. まとめ ほか <p>せいせきひょうか 成績評価方法 原則として学期末試験（80%）及び出席点（20%）による。</p> <p>きょうかしょ 教科書 『日中いぶこみ広場 簡明版』 相原茂、陳淑梅、飯田敦子著（朝日出版社）</p> <p>さんこうしょ 参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p>じゅぎょう 受講者へのメッセージ 授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の授業でガイダンスを行います。 ・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。 ・再試験は、定期試験では合格点に達しなかったが、再試験においては合格の可能性があると担当教員が判断した場合に行います。

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
中国語 Level 2a	劉 欣	水3	20	<p>本授業の目的およびねらい この授業はかなり高度な聴解力と口頭表現力など特定の運用能力にしぼって行われ、受講者の専門的要請にも対応できる高度な実践的運用能力の養成を目指す。学習意欲が旺盛でなければ授業についていくことはできない。目標は「中国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること。中国語の初級（発音・文法事項等）を習得していること。</p> <p>授業内容 この授業は中国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし、「習う中国語から使う中国語」を指向する。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の中国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するため、できるだけ中国語を使うようにしたい。言語文化科目Ⅰ、中国語 Level 1a に引き続き、さらに中国語世界の理解を深めていきたい。</p> <p>成績評価方法 原則として学期末試験（70%）及び平常点（30%）による。</p> <p>授業時における教員のアナウンスに十分注意すること。履修取り下げは認めない。</p> <p>教科書 随時、プリント教材を配布する。</p> <p>参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p>注意事項 履修取り下げ制度を採用しない。</p> <p>受講者へのメッセージ 授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の授業でガイダンスを行います。 ・参考書についてはガイダンスで説明します。 ・高度な聴解力、口頭表現力の養成を目指すので、中国語の基礎的な力に身につけていること、積極的に授業に参加することが受講の条件です。
スペイン語 Level 1a	宮下 克子	水4	20	<p>本授業の目的およびねらい スペイン語は三億人以上の人々によって話されている言語であり、国際化著しい今日の社会を舞台にめざましい活躍が期待される皆さんにとって、これを習得することは大変に有益なことと思われる。本授業においては、スペイン語の基礎文法を学ぶと共に、日常生活や旅行等に必要簡単な会話を身につけるべく、様々な教材を用いて多角的に学習を進める。テキストおよび映像による教材はスペイン及びラテンアメリカ諸国に関する情報を豊富に含むものであり、その雰囲気、文化、歴史等に対する学習者の興味を喚起することは間違いない。</p> <p>履修条件・関連する科目等 特にありません。初心者を中心に対象としますが、かつて学んだことがあるがあらためてもう一度スペイン語を学びたいという人も歓迎します。</p> <p>授業内容</p> <p>第1課：スペイン語の文字と発音。アクセント。あいさつ。名前の尋ね方、答え方。</p> <p>第2課：名詞の性、数。数詞。形容詞。冠詞。コーヒーなど、飲み物の注文。</p> <p>第3課：主格人称代名詞。動詞の規則活用。否定文・疑問文。一般動詞を用いた文章の構成。住んでいる場所の尋ね方、答え方。何を勉強しているか尋ね、答える。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授業内容
スペイン語 Level 1a	みや した かつ こ 宮下 克子	水4	20	<p>第4課：hacer, ver, salir など不規則動詞の活用。hacer を使い、何をするか、週末をどうやって過ごすか尋ねる。</p> <p>第5課：ser 動詞の活用と用法。さまざまな形容詞を用いた表現。出身の尋ね方、答え方。</p> <p>第6課：ser を用いた時間の表現。日付の言い方。指示形容詞。数詞。時間の尋ね方、答え方。誕生日を尋ねる。</p> <p>第7課：estar 動詞の活用と用法。hay を用いた存在文。hay と estar の相違。場所を尋ねる。状態を尋ねる。</p> <p>第8課：querer 動詞の活用と用法。何がほしいか、尋ねる。何をしたいか、尋ねる。何になりたいか、尋ねる。</p> <p>* 一回の授業で一課から一課半を学ぶスピードで進めます。15回めは、復習を行います。</p> <p>成績評価方法 1. 出席状況 (30%) 2. 学習に向かう姿勢 (10%) 3. 提出物と試験 (60%) 履修取り下げ制度を使用する。</p> <p>教科書 Hola! Que tal? 朝日出版社 辻本千栄子著</p> <p>参考書 辞書：例えば『現代スペイン語辞典』白水社など。授業時にプリント等を配布する。</p> <p>注意事項 辞書に関しては、上記の『現代スペイン語辞典』に限るものではない。スペイン語を学習する上での各々の意図に応じて、あるいは好みに沿って選んでください。</p> <p>受講者へのメッセージ * 授業時には辞書を携帯し、熱意を持って学習に臨むことを期待する。</p> <p>スペイン語の読み方は、所謂ローマ字読みであり、日本人にとってはさほど難しいものではない。特別な読み方は、ほんの数種類に過ぎない。またあまり発音を気にしなくとも、ネイティブの人々に理解してもらえる。そういった意味では、我々にとって比較的近づきやすい言語と言えよう。主語を省くことができ、語順にも柔軟性がある。名詞に性があること、形容詞が後置されることなどは、英語と異なっている。また表現する際の発想においては、英語に比べると、より日本語に近いように思う。</p> <p>スペインは世界遺産の多い国として知られている。イスラム支配の影響もあり、ヨーロッパの中でも際立って個性的な文化を育んできた。造形に優れた民族であり、殊に近代においてはピカソ、ダリ、ミロといった優れた芸術家を輩出している。建築家ガウディも、また、彼が設計し今も建築途上の大聖堂「サグラダ・ファミリア」も大変に有名である。音楽の分野でもグラナドスやタレガといった作曲家、イエペス、セゴビアといった世界的な演奏家を生んできた。絵画、音楽、建築に興味を持つ人々にとっては興味の尽きない国であろう。サッカーファンは、リアル・マドリードやバルサの国として親しみを感ずるはずである。また、アルモドバル、アメンバルといった新しい感性を持った監督による映画作品も世界の注目を集めている。</p> <p>ラテンアメリカ諸国は、成熟途上の国特有の魅力に満ちた社会を有している。そこには神秘的な自然と、日本に住む我々の想像を超える現実が存在している。その経済・政治に興味を抱く人は多いであろう。音楽、文学といった文化の面でも、多様な展開を見せている。スペイン語を学ぶことは、こうした魅力的なスペインやラテンアメリカ世界に近づく確かな一歩となるはずである。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
スペイン語 Level 2a	かわ た 玲 子	木4	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 一年次又は初級スペイン語で身につけたスペイン語の知識をもとに、スペイン語力のさらなる向上を目指す。</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん かもくどう 履修条件・関連する科目等 第Ⅰ・Ⅱ期のスペイン語1・2・3・4または初級スペイン語1・2の授業を終えている、もしくはそれに相当する基礎知識を有すること。</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 この授業では初級文法知識を有する参加者を対象に中級文法の学習と会話練習および講読をおこなう。 文法事項の説明に関しては動詞の過去時制(点過去と線過去、過去完了)と未来時制(未来、過去未来、未来完了、過去未来完了)および接続法現在時制・過去時制を中心に毎回30分程説明する予定であるが、受講者の状況をみて柔軟に対応をする。 残りの時間で会話・講読といった実践力を高める練習をおこなう。 毎回の講義で1. 日常生活に関する簡単なLecturaやDiálogoを読む。 2. 表現コーナーを設け、テーマに関連するスペイン語特有の表現を学ぶ。 3. LecturaやDiálogoのテーマに関して質疑応答をする。会話練習は2～4人のグループ形式でおこなう。参加者は適宜配布されるLecturaやDiálogoを読んでくること。なお、毎回最後に簡単な作文を書く。</p> <p>せいせきひょうかほうほう しゅつせき じゅぎょう せつぎょくてき さん か ずいじ りかいじょうきょう 成績評価方法 出席、授業への積極的な参加、随時おこなう理解状況確認小テスト、定期試験(70%)など総合的に評価する。</p> <p>きょうかしょ 教科書 教官が必要資料を予め配付する。</p> <p>さんこうしょ すみさとじゆんべいちょ 参考書 寿里順平著『スペイン語の表現』東洋書店、寿里順平著『応用スペイン語文法』東洋書店 高橋寛二著『スペイン語表現ハンドブック』白水社、高橋寛二著『基礎スペイン語便覧』評論社、山田義郎監修『中級スペイン語文法』白水社</p> <p>ちゅういじこう まいかいせい わ じてん じさん 注意事項 毎回西和辞典を持参すること。</p> <p>じゅごうしゅ 受講者へのメッセージ 「スペイン語を学ぼうと思った理由は何ですか」と学生に聞かれることがある。私の場合は、ちょっとしたきっかけからスペイン語圏の文化を知りたいと思うようになり、メキシコの大学院入学を決意したのである。当然のことながら、スペイン語の読み書きが十分にできなければ話にならなかった。スペイン語を学ぶにあたり「この表現は英語と違う」「日本語ならばこういう表現になる」などと考える余裕がなく、とにかく文の内容を理解し実際に使うという方法をとった。それが最も手取り早い学習方法であった。日常会話のなかで子供が言語を覚えていくように、相手が使った表現を繰り返す。新聞や本で目にした表現をそのまま使うなどした。それが幸いしたのか、ずいぶんとナチュラルなスペイン語表現を身につけることができたようだ。 日本ではスペイン語と接する機会があまりない。そこでお勧めするのが映画鑑賞である。スペインはじめ、ラテンアメリカ諸国で製作された評価の高い映画がたくさんある。一度覗いてみてはどうだろうか。実際にスペイン語を聞く事ができるし、さらにスペイン語圏の社会や文化、独特の考え方など多くのことを学ぶことができる。その他、日本映画のスペイン語字幕版や吹き替え版を見るのも面白い。日本語とスペイン語の表現の違いがよくわかる。こちらは日本では手に入らないと思うので、私の方に申し出ていただきたい。その他、スペイン語版漫画「トムとジェリー」などもあるので、読みたい方は申し出るように。 ¡Disfrutemos en la clase!</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 日限	定員	授業内容
朝鮮・ 韓国語 Level 1a	荒井 慶子	金3	20	<p> 本授業の目的およびねらい 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。 バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。 </p> <p> 履修条件・関連する科目等 朝鮮・韓国語 Level 1b で履修することが望ましい。 </p> <p> 授業内容 1学期間の授業予定は次の通りである。 文字と発音 1～10 <ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの構造 2. 単短母音 3. 半母音 + 単母音 4. 二重母音 5. 子音 (初声) : 鼻音と流音 6. 子音 (初声) : 平音 7. 子音 (初声) : 激音 8. 子音 (初声) : 濃音 9. 子音 (終声) : 鼻音と流音 10. 子音 (終声) : 閉鎖音 その他、発音規則について学びます。 </p> <p> 文法と会話 1～5 <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定詞 2. 漢字語数詞 3. 固有語数詞 4. ㅏㅑ体 5. ㅓㅕㅗㅛㅜㅝㅝㅟㅟ体 毎時間1課分を学習する。授業の冒頭で復習のための10分程度の小テストを行う。また、必要に応じて宿題、レポートを課すことがある。 </p> <p> 成績評価方法 平常点(30%)、期末試験の成績(70%)、4回以上欠席した者、期末試験を受験しなかった者は「欠席」とする。 </p> <p> 教科書 『韓国語へのとびら－会話と練習をふんだんに－』吉本一、中島仁、石賢敬、曹喜澈 著 (朝日出版社) </p> <p> 参考書 必要な物は授業中に指示する。 </p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
朝鮮・ 韓国語 Level 2a	金 賢 珍	金4	20	<p> 本授業の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養う。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。 また、言語文化Iあるいは初級朝鮮・韓国語（朝鮮・韓国語 Level 1a, 1b）に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。 </p> <p> 履修条件・関連する科目等 言語文化Iあるいは初級朝鮮・韓国語（朝鮮・韓国語 Level 1a・1b）を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。 </p> <p> 授業内容 この授業では、教科書に沿い、原則として毎時間1課分を学習する。教科書は場面・テーマ別に構成されている。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1 美容院 2 紹介 3 タクシー 4 郵便局 5 銀行 6 映画 7 お土産 8 遊園地 9 休暇 10 病院 <p> 成績評価方法 履修取り下げ制度を採用する。出席状況を含む平常点(30%)、期末試験の成績(70%) なお、授業を4回以上欠席した場合は不合格とする。 </p> <p> 教科書 韓国語教育文化院『日本人のための easy Korean 2』（国書刊行会）ISBN：978-4-336-04644-4 </p> <p> 参考書 辞書、参考書については、名古屋大学生協書籍部の「外国語学習のアドバイス」のページに紹介されている。 http://www.nucoop.jp/book/dictionary.html </p> <p> 注意事項 辞書(電子辞書も可)を各自購入し、毎回の授業で持参すること。 </p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ポルトガル語 Level 1a	しげまつ 重松 由美	火2	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 本授業は、初めてポルトガル語を習う人だけでなく、あらためて基礎から学び直したい人も対象としている。授業の目的は、ブラジルポルトガル語の発音及び基礎的な文法事項を学び、基礎的な会話力を身に付けることである。受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介、在日ブラジル人に関する情報も提供していきたい。</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 特になし（院生及び教職員も受講の対象とする）。</p> <p>じゅぎょうないよう しょきゅう 授業内容 初級ポルトガル語の授業は、基本的にはテキストに基づいて進めていくが、DVDやインターネットなどの映像も用いる予定である。ブラジルポルトガル語の基礎的な文法事項を徹底的に習得できるように、特に口頭での練習問題を繰り返し行い、基礎的な会話力を身に付けていく。また、身の回りにあるポルトガル語（公共施設やスーパーなどでの標記など）を通して在日ブラジル人の状況を紹介していきたい。</p> <p>だいいかい アルファベット、発音 だいいかい あいさつひょうげん めいし せい すう だいいかい 挨拶表現、名詞の性と数 だいいかい かんし すうじ だいいかい 冠詞、数字(0～30) だいいかい しゅかくにんしやうだいいめいし どうし だいいかい 主格人称代名詞、ser 動詞 だいいかい ser 動詞(出身) だいいかい けいようし だいいかい 形容詞 だいいかい しよゆうし しじし だいいかい 所有詞、指示詞 だいいかい ちよくせつほうげんざい きそくかつようどうし だいいかい 直説法現在の規則活用動詞 だいいかい ぜんちし ぜんちし ていかんし しゅくこうけい だいいかい 前置詞、前置詞と定冠詞の縮合形 だいいかい どうし い みらいひょうげん だいいかい ir 動詞（「～へ行きます」、未来表現） だいいかい どうし どうし ひんどうひょうげん だいいかい ter 動詞、fazer 動詞（頻度表現） だいいかい ぎもんし だいいかい 疑問詞 だいいかい どうし きよか いらいひょうげん だいいかい poder 動詞（許可、依頼表現） だいいかい どうし かんゆうひょうげん だいいかい querer 動詞（勧誘表現） だいいかい つきひ ようび ひょうげん だいいかい 月日・曜日の表現</p> <p>せいせきひょうかほうほう りしゅうと させいど ざいよう じゅぎょう さんかたいど ていき 成績評価方法 履修取り下げ制度を採用する。授業への参加態度と定期試験の結果で総合的に判定される。</p> <p>きょうかしょ 『Vamos falar português! ブラジル・ポルトガル語を話そう!』 しげまつよしみ ちよ あさひしゅつぱんしゃ 松由美著、朝日出版社。</p> <p>さんこうしょ ぼにち にっぽんじしよ ひつよう 参考書 葡日・日葡辞書が必要である。</p> <p>さんこう 『現代ポルトガル語辞典改訂版』 いげのみねお ほかへん かくすいしゃ 池上岑夫他編、白水社。 『ディリー日葡英・葡日英辞典』 さんせいどうへんしゅうじよ 三省堂編修所。</p> <p>ちゅういじこう かだい かなら じゅぎょうご がくしゅう かしょ おんどく 注意事項 課題は必ずやってくる。授業後、学習した箇所を音読すること。理解できない点は、授業中に積極的に質問してください。</p> <p>じゅぎょうしや じん い 受講者へのメッセージ ブラジル人ティーチング・アシスタントと生きたポルトガル語を話しましょう。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
イタリア語 Level 1a	A. Sciucca	水4	20	<p>ほんじゆぎよう もくてき 本授業の目的およびねらい 旅行、留学などでイタリア滞在を考える学生に基本会話表現を習得してもらうとともに、イタリア理解の入り口を提供することを目指す。</p> <p>じゆぎようないよう 授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、アルファベットおよび数詞 2. 名詞（男性・女性）とその活用 3. 冠詞（不定冠詞・定冠詞） 4. 形容詞（第一種形容詞・第二種形容詞） 5. 動詞（are / ere / ire 動詞）と直説法現在形 6. 動詞（are / ere / ire 動詞）と直説法現在形（不規則動詞） 7. 前置詞 8. 直接代名詞 9. 再帰動詞（are / ere / ire）の直説法現在形（規則動詞） 10. 過去分詞（規則動詞・不規則動詞）と近過去（are / ere / ire） 11. 他動詞と自動詞 <p>* 随時、映画やTV番組の中から会話を抜粋し、生きたイタリア語表現に触れるとともに、イタリア人の価値観や志向、行動様式などについて考える機会を与える。</p> <p>せいせきひょうかほうほう きまつ りしゅうたいど かいい じょうけつせき 成績評価方法 期末テスト80%、履修態度20%、6回以上欠席したものは期末テスト受験を認めない。</p> <p>きょうかしょ ちよ 教科書 Loredana Chiappini & Nuccia De Filippo著“Un giorno in Italia” vol.1 (L'italiano per stranieri: Bonacci editore)</p> <p>さんこうしょ ひつよう おう じゆぎようしょうかい 参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p>ちゅういじこう よしゅう ひつよう こうぎ じっし たんげん ふくしゅう まいかい 注意事項 予習の必要はないが、講義で実施した単元の復習は毎回してもらう必要がある。また、適宜宿題も課す。</p> <p>じゆこうしゃ なが れきし ゆた ふん か ほんく 受講者へのメッセージ 長い歴史と豊かな文化に育まれたイタリアをより良く理解するためにも、熱意を持って授業に取り組んでください。</p>